

## 平成30年(第12回)「みどりの学術賞」受賞者による イベントの開催が決定

にっぽんかがくみらいかん  
日本科学未来館(略称:未来館 館長:毛利 衛)は、平成30年(第12回)「みどりの学術賞」の受賞者を招き、イベントを開催することが決定しましたのでお知らせいたします。

「みどりの学術賞」は、「みどり」についての国民の造詣を深めるために、国内において植物、森林、緑地、造園、自然保護等に係る研究、技術の開発その他「みどり」に関する学術上の顕著な功績のあった個人に内閣総理大臣が授与するものです。

イベントには、今年の「みどりの学術賞」の受賞者である、熊谷洋一氏(東京大学名誉教授、兵庫県立淡路景観園芸学校名誉学長)、篠崎和子氏(東京大学大学院農学生命科学研究科教授)をそれぞれ講師にお招きし、研究内容・成果のほか、研究の背景やこれまでの道のりなどを伺います。イベントの進行は「みどりの学術賞」への理解を深めるために、内閣府から任命された「みどりの科学コミュニケーター」が務めます。

受賞者の研究を通して、学術的な視点から「みどり」の大切さについて理解を深める機会としていただければ幸いです。ぜひ貴媒体にてご掲載、ご取材いただきますようお願い申し上げます。

### 【概要】

タイトル:トークセッション「ついに見つけた!植物のストレス対応術!」

開催日時:2018年5月12日(土)14:00~15:00

開催場所:日本科学未来館 5階 コ・スタジオ

登壇者:篠崎和子氏(東京大学大学院農学生命科学研究科教授/第12回「みどりの学術賞」受賞者)

タイトル:トークセッション「“見た目”で変わる、自然環境の良し悪し」

開催日時:2018年6月24日(日)14:00~15:00

開催場所:日本科学未来館 5階 コ・スタジオ

登壇者:熊谷洋一氏(東京大学名誉教授、兵庫県立淡路景観園芸学校名誉学長/第12回「みどりの学術賞」受賞者)

主催:日本科学未来館

共催:内閣府

※参加費は入館料のみ、事前申し込み不要。当日会場まで直接お越しください。

一般からのお問い合わせ先	掲載・取材に関するお問い合わせ先
日本科学未来館 〒135-0064 東京都江東区青海2-3-6 TEL:03-3570-9151 FAX:03-3570-9150 URL <a href="http://www.miraikanjst.go.jp">http://www.miraikanjst.go.jp</a>	日本科学未来館 広報・普及課 広報・普及担当 Email: <a href="mailto:press@miraikanjst.go.jp">press@miraikanjst.go.jp</a> TEL:03-3570-9192 FAX:03-3570-9150

## 【イベント詳細】

### ■トークセッション「ついに見つけた！植物のストレス対応術！」

主にシロイヌナズナとイネを用いて、乾燥や低温など環境ストレスへの耐性に関わる遺伝子を発見し、ストレス耐性の仕組みを明らかにした篠崎氏の研究は、イネ・コムギ・トウモロコシなどの品種改良にも応用され、将来の食料危機や地球環境保全への貢献が期待されています。研究成果をお話いただくとともに、植物の研究をはじめたきっかけなど研究の背景についても伺います。

開催日時：2018年5月12日(土) 14:00～15:00

開催場所：日本科学未来館 5階 コ・スタジオ

講師：篠崎和子氏(東京大学大学院農学生命科学研究科教授)

1954年生。東京工業大学大学院総合理工学研究科博士課程修了。理学博士。国立遺伝学研究所、ロックフェラー大学、理化学研究所、国際農林水産業研究センターなどを経て、東京大学大学院農学生命科学研究科教授。日本植物学会 奨励賞(1993年)、文部科学大臣賞(2002年)、日本植物生理学会 学会賞(2009年)など受賞多数。「植物の環境ストレス応答機構の解明と耐性作物の開発」に関する功績で平成30年(第12回)みどりの学術賞を受賞。



篠崎和子氏

ファシリテーション：武田真梨子(日本科学未来館 科学コミュニケーター/平成30年度「みどりの科学コミュニケーター」) 環境科学を軸にミジンコの遺伝子解析から日本の耕作放棄地まで幅広く研究。2014年から現職。

### ■トークセッション「“見た目”で変わる、自然環境の良し悪し」

自然環境の保安全管理に関する評価方法について、従来の大気・水と生態系という観点に加え、景観という観点を提案した熊谷氏の研究は、景観やふれあいの場としての自然環境への影響を予測・評価する手法を確立し、自然環境の保全に貢献しました。人にとっても、みどりにとっても良い環境とは何か、「景観」をキーワードにお話を伺います。

開催日時：2018年6月24日(日) 14:00～15:00

開催場所：日本科学未来館 5階 コ・スタジオ

講師：熊谷洋一氏(東京大学名誉教授、兵庫県立淡路景観園芸学校名誉学長)

1943年生まれ。東京大学大学院農学系研究科博士課程単位取得。以後も東京大学、東京大学大学院などで従事。また、兵庫県立淡路景観園芸学校の開校当時より、学校長、学長などを歴任。国立公園協会 田村賞(1988年)、日本公園緑地協会 北村賞(2004年)、日本造園学会 上原敬二賞(2015年)など受賞多数。「自然環境の保安全管理の基本となる景観影響評価方法論の構築と自然環境についての国民への理解と普及への貢献」に関する功績で平成30年(第12回)みどりの学術賞を受賞。



熊谷洋一氏

ファシリテーション：清水裕士(日本科学未来館 科学コミュニケーター/平成30年度「みどりの科学コミュニケーター」) 大気中の微粒子を集め、その光学特性を測定する装置を開発する研究で、修士(工学)を取得。2017年から現職。

## 【関連情報】平成30年(第12回)「みどりの学術賞」受賞記念講演会

開催日時：2018年6月2日(土) 13:30～16:00 (開場：13:00)

開催場所：日本科学未来館 7階 未来館ホール

登壇者：熊谷洋一氏、篠崎和子氏

参加方法：事前の申込みが必要です(5月25日(金)〆切、定員240名)。以下の申込先よりお申し込みください(農林水産省のウェブサイトでの申込みになります)。

〈お申込先〉[https://www.contactus.maff.go.jp/rinya/form/sanson\\_ryokka/180416.html](https://www.contactus.maff.go.jp/rinya/form/sanson_ryokka/180416.html)

主催：内閣府

共催：日本科学未来館

問い合わせ先：内閣府 大臣官房総務課 みどりの学術賞及び式典担当室 TEL：03-3502-8243(林野庁山村振興・緑化推進室)